

KOUNAN SMILE vol.21

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2018.6

夜勤者 健診
6月19日 15:30
夏ボーナス 支給
6月下旬

人本経営
実践講座

4社をベンチマークしてきました!

ベンチマーク…他社の優れた経営方法を分析して、自社に取り入れること

3月から月1回、一樹さん、忠広さん、三好さんと4人で人本経営実践講座を松山で受講しているのですが、第3回は大阪でベンチマーク。「人本経営」を成功させている4社を見学させてもらい、社長さんのお話を聞いたり、社員さんと直に交流し社風や風土を体感させてもらったりとても貴重な時間を過ごさせてもらいました。

4社とも経営の根本には【社員の幸せ】というものがありません。【社員の幸せ】への取り組み方は4社4通りで、イベントや委員会の設置、充実した福利厚生などいろいろな取り組みがありました。江南ラミネートでも「これはできそうだな」「これしてみたいな」などワクワクしながら聞かせてもらいました。

でも!やはり!どんなに制度や福利厚生が充実しても、それを受ける社員さんに感謝の気持ちがなければ意味がない。その制度の恩恵にどっぷりつかっているだけの、ゆでカエルになってしまうだけと感じました。4社とも社長さん、社員さんから溢れる感謝の気持ちがすごく空気が違いました。仲間のために、会社のために、自分の能力を最大限に発揮してくれるからこそ、会社も社員の幸せのために全力を尽くします。会社が社員の幸せのために全力を尽くしてくれるから、社員のみならずそれに応えようとまた頑張ります。鶏が先か、卵が先かみたいになってしまいますが、その循環に入れば、社長が木鶏会の最後に話していた「景気超絶型企業」になっていくのだと思います。それに必要なのは、ズバリ「感謝の気持ち」だと私は思います。

「鏡は先に笑わない!」「求め合うより与え合う」ですね。

「ありがとう」の反対はなんでしょう。「ありがとう」は「有難い」と書きます。有るのが難しいのがありがとう。ではその反対は、有るのが簡単、つまり「当たり前」が「ありがとう」の反対なのですね。当たり前と思ったら、それに応えようとは思いません。当たり前と思



★ウェルカムボード★
4社ともそれぞれ工夫を凝らしてお出迎えしてくれました。おもてなしの心、いただきました♪

カフェのようなピュッフェスタイルの社員食堂♪社員食堂実現への想いが一層強くなりました!!～念ずれば花ひらく～



岡野さんも誕生日

HAPPY BIRTHDAY		松谷力 6月15日 19歳	石山幹夫 6月20日 51歳
三宅英幸 6月21日 54歳	峰森博文 6月23日 54歳	瀧口ひとみ 6月25日 41歳	

わず「ありがたい!」と思った。その気持ちを何かの形で返そうと一歩踏み出せるのかなと思えます。この人本経営に限らず、みなさんにはいろんな研修に行ってもらった機会が増えましたが、その費用は会社が負担しています。先日全国大会においては参加者全員の参加費、交通費をなんと社長個人が負担してくれたわけです。もちろん会社が行くように言ってるわけですし、全国大会だって休みの日です。自己負担なんてあり得ないでしょう(笑)でも行かせてもらうことを「当たり前」と思ったら、何の学びもなく終わります。感謝することによって行動が変わってくると思えます。それは「ありがとう」と言葉で伝えることはもちろんですが、「相手の気持ちに応える」ことこそが感謝の気持ちを表す一番の方法だと思います。それにはまずは相手の気持ちがわからなければ応えようがないですね。そこまでして行ってもらいたいと思う社長の気持ち。良い会社になりたい、一人ひとりに成長してもらいたい。に伝えることが、感謝するという本当の意味だと思います。だとすれば会社に戻ってからの行動も自ずと変わってくるのではないかなと思います。そういう私も研修に行かせてもらっている身で、それを表現できているか、行動に変えることができているかと言われると…悶々と反省する日々を過ごしております。が、自分自身の中では結構、モチベーション高くいろいろチャレンジしたいという思いは溢れています。「学びから行動へ」が自分の課題です。自分自身の課題、会社の課題「試されて!」と思って意気揚々と取り組んでいきたいと思えます!

by きよこ

第8回 社内木鶏全国大会 in 大阪 5月12日

社長を含め24名で行って来た社内木鶏全国大会。熱量に圧倒されたという感想と同時に、舞台上に立っている5社も、始めは今の江南ラミネートと同じような状況で、木鶏会を通じて変わっていったことがわかり「木鶏会の大切さを感じた」「会社を良くするのは社員一人ひとりの意識が大切」ということを感じてくれた方が多かったようで、この気持ちをみなさんと共有できたことは必ず江南ラミネートの財産になると思います。藤尾社長の「成功する人はあらゆる縁に価値を見いだせる人」「出逢いが出逢いになるためには、感動、感激できる“情”の心が必要」「致知を通して日本を変える!」などなど。熱くエネルギー溢れる思いをそれぞれの肌で感じる良い機会となりましたね。今回参加できなかった方はぜひ次回!



致知出版社の藤尾社長とともに♪




グランフロントで昼食



漫画『ヒロセ物語』の実写版(笑) 本物のヒロセ社長とともに♪

毎月1人をランダムにピックアップ!
仲間のことをもっと知ろう!というコーナー



今月の主役は森田啓志さんです。
皆さんの知らないアレコレ、調査してきました!

今月の主役!

森田さんの性格は「『16Personalities』というサイトによると自分は『巨匠』らしい」とのことです。このサイトが気になる方は検索して診断してみてくださいね!
森田さんの趣味は車と釣りです!休みの日は専ら釣りをして過ごしています。そんな釣り大好きな森田さんのお気に入りルアーです!NadarのFat beagle(Mat ghost chart)というルアーが特に気に入っていて、「見た目がかわいい」「もう投げたくない」とのことです。いったいどんなルアーなのでしょう…!

森田さんの好きなものは福島県郡山市かんのやの「家伝ゆべし」。福島県民なら一度は食べたことがあるという、福島の銘菓です。そして苦手なものは海のパイナップル「ホヤ」です。あの独特の食感が苦手な人は多いかもしれませんね。
◆あなたの10年前
十年前の森田さんは25歳を目前にして何かと焦っていた時期だっ

たそうです。四捨五入すると30歳という謎のプレッシャーをビシビシと感じる時期ですよ。

◆脳内パーセンテージ



魚!

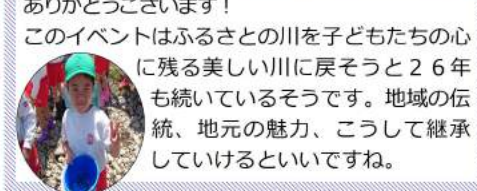
◆前回の主役(大西健吾さん)からの質問
A、人におすすめしたいものを教えてください。
Q、仙台銘菓「萩の月」、ずんだ餅

以上、森田さんの調査結果でした!
次は誰が選ばれるか、お楽しみに♪

「カツ社社長がゆく」の巻

5月10日 金生川 鮎の稚魚7000匹 放流

約260名ほどの園児たちのバケツに稚魚を入れてあげるといってお手伝いを笑顔でしてくれた保土くん、大石くん、松谷くんありがとうございました!
このイベントはふるさとの川を子どもたちの心に残る美しい川に戻そうと26年も続けているそうです。地域の伝統、地元の魅力、こうして継承していけるといいですね。



協働の自発性 岡野さんがみんなのために橋を作ってくれました。遠回りすることなく、ジャンプすることなく、行き来できますね。ありがとうございます!

大西輝尚さんが腰の手術のため5月14日より入院し、今は自宅で療養しています。まだ痛みがある中、先日わざわざお菓子と4月号、5月号の木鶏会の感想文を持って来てくれました!今の輝尚さんにとって致知は大きな存在になりますね。読む時間もたっぷりあるかと思えますので誰よりも読み込んでくれることと思います(笑) 焦りは禁物です!十分に治してから復帰して来て下さい!

◆ 経理からのお知らせ ◆
～6月8日支払分より～
* 5月 昇給
* 住民税 変更
今年度の住民税が確定し各々変更しています

五月十二日社内木鶏全国大会 in 大阪へ二四名で行って来ました。いやあ、本当に素晴らしい会でした!何回も何回も涙がこぼれそうになりました。五社の事例発表は各社とも『木鶏会のリアル』が随所に出ていてホントに等身大な感じでも共感できました。藤尾社長の講演は、私はもうかれこれ七、八回聞いていますが、何度聞いてもガツーンと心に響くし、忘れていた大切なことを思い出させてくれます。全社員で全国大会に行こうと考えたのは、江南ラミネートで十回二十回と木鶏会を積み重ねても、皆さん一人ひとりに木鶏会の意義がなかなか伝わらないというか、皆さんの心になかなか火がつかないと感じていて、これは「百聞は一見にしかず」ではないですが、他の会社の紆余曲折を経て木鶏会に真剣に取り組むようになった事例や木鶏会を行う社長の想いや社員の想いを聴いたり、藤尾社長の情熱をナマで体験してもらえれば、社員の成長を願って木鶏会を行う私の気持ちも必ず皆さんに伝わると思っていたからです。みんなの切符の手配をしながら「想いが正しく伝わりますように」と願っておりました。参加した皆さん、いかがでしたか?全国大会に行きながら良かったのではないのでしょうか?この日会場で体感した想いを絶対に忘れないでください!!

さて【二対六】の法則って知っていますか?どんな組織でも「前向きな人が二割、どっちつかずの人、そして全く無反応の人...いろいろです。えっ、まさかまだに聴いてないなんて人はいないですよ?」

克晴